

# 五ヶ丘まちづくりニュースレター



## 第9号



### 第2回五ヶ丘まちづくりミーティング を開催します！

ワークショップの参加者で創り上げた「五ヶ丘の将来像」を  
住民のみなさんに発表します！

ご家族、ご友人等お誘い合わせの上、ぜひご参加ください！

- ・日時：2月7日（土） 14時～
- ・場所：五ヶ丘東小学校 体育館
- ・内容：①五ヶ丘をテーマにした公演（喜劇団 笑劇波）  
②「五ヶ丘の将来像」発表  
③五ヶ丘自治区連合会及び市との意見交換

※参加申込不要 ※駐車場はありません。※上履き持参

託児  
あり

【高橋支所へ要予約 ☎80-0077（1/29締切）】  
※有料（詳しくは予約時にご案内します。）



令和7年度 第6回五ヶ丘まちづくりワークショップを開催しました！

12月14日（日）に、令和7年度第6回「五ヶ丘まちづくりワークショップ」を益富交流館で開催し、26名の方にご参加いただきました。

今回は、前回のワークショップの結果を整理した五ヶ丘の将来像（案）に対して意見をいただきました。その後、将来像実現のためにできることについて話し合いました。

#### あいさつ（五ヶ丘自治区連合会 寺崎会長）

中日新聞（R7/12/5朝刊）に掲載された、岐阜県各務原市八木山地区の『ささえあいの家』の代表者清水さんに話を聞きに行ってきました。高齢化や空き家、買い物難民などの困りごとに対して、10年前から「ささえあい活動」を継続しておられます。五ヶ丘よりも10年先輩になります。良い参考事例になると思いました。世の中には頑張っている人たちがいることが分かり、自分たちも頑張らねばと思いました。



寺崎会長

## ①五ヶ丘の将来像（案）及び

### グループワーク「将来像実現のためにできることを考える！」

- ・下表のような5つの将来像（案）に対して、“多世代”に加え“多様性”を追加したい、“歩いて暮らせる”は現実的ではないので見直しては、などの意見が出されました。
- ・また、5つの将来像（案）ごとにグループに分かれ、将来像実現のための取組について案を出し合いました。

5つの将来像（案）	将来像実現のための取組（主な意見）
1. 多世代が楽しく元気に暮らすまち （多世代・共生）	・心から住みたくなるまちとするため、公有財産跡地を活用し若者向け住宅を整備する。 ・共働き世帯への託児所提供、学童と高齢者の居場所を組み合わせるなどして、皆が集まる場所をつくる。
2. 心地よいつながりがあるまち（つながり・交流）	・やりたい人が企画・運営し、賛同者が寄付や参加で支援する“やりたい”から始めるイベントをやる。 ・シニア、子育て世代、子どもができること・得意なことを教え合う、多世代のスキルの交流を進める。
3. ふるさと愛を育むまち（魅力・誇り）	・まちを再認識するために「歩こう会」を開催する。 ・「五ヶ丘愛」を育てるため、住民が講師となり、小学校で五ヶ丘の歴史や自然を学ぶ郷土学習をする。
4. 安全・安心に暮らすことができるまち （支え合い・助け合い）	・住民台帳に災害弱者等の情報を記載。地域で防災情報をリスト化しマップ化する。 ・ひとり暮らし高齢者の生活支援。
5. 歩いて暮らせる便利なまち（便利・くらし）	・中高生が利用できるカフェ。日替わりシェフで食事を提供、午後は学習スペースとなる柔軟なカフェ。 ・地域通貨を導入し、五ヶ丘での様々な取組で活用。

- ・5つの将来像をイメージできるようなキャッチコピー（案）についてもみなさんで考えていただきました。詳しくは、第2回五ヶ丘まちづくりミーティングで発表する予定です。

## ②講評 ◇牧野 篤様（大正大学教授、東京大学名誉教授、五ヶ丘地区まちづくりアドバイザー）

子どもたちに地元のことを教えるとき、大人との“いい関係”がなければ、知識（地元のこと）が自分事にならないことがわかっています。子どもたちは、大人に大事にされ、一緒に何かを達成した経験があると、そこにつながりが生まれ、五ヶ丘を自分のふるさとと感じ、住み続けたいと思うようになるかもしれません。今日は、そうした“いい関係”をどうつくっていくかについて話し合われたように思います。



牧野様

五ヶ丘の将来像は今回の意見を踏まえて修正し、第2回五ヶ丘まちづくりミーティングで詳しく紹介します。

